

経済
観測

松元 崇

第一生命経済研究所特別顧問



人材の組み合わせ
モジュール化した経営
場面でも行われ
ている。モジュ
ル化しているが、それと同
じことが経営の
場面でも行われ
ている。モジュ
ル化した経営
人材の組み合わせ

昨年逝去された小林陽太郎さんをしのぶ会があり出席させていただいた。経営にも哲学が必要との考えの下に小林さんが作られた日本アスペン・セミナーという経営者向け研修会の公務員版に参加(第1回)したご縁からである。最近の企業経営では、米国のビジネススクールで教えられる手法が花盛り。それは、ビジネススクールやロースクールの卒業生が、営業や経理、法務の専門家として複数の企業を渡り歩きながら出世していく。そういった人材を組み合わせることで最適の経営を行うというものである。IT化の進展で、生産構造のモジュール化が進み、それがグローバルなサプライチェーンの創造を可能にしているが、それと同じことが経営の場面でも行われている。モジュール化した経営人材の組み合わせ

グローバル経営における哲学

2016.1.28

せが行われているのである。そんな経営手法の下では経営哲学は忘れられがちになる。企業が自社の理念に基づく人材育成をすることが難しくなるからである。ところが、そんな経営手法を生んだ米国で高い評価を受けているのが、経営者が1週間にもわたって泊まり込んで哲学や文学を討論するアスペン・セミナー。そして、同様のセミナーが日本にも必要だ、企業が力強くグローバルに展開していく上で必須だ、と考えたのが小林さんだった。コーポレートガバナンスやスチュワードシップ・コードの一番の基本も企業経営に哲学が必要だということ。そう考えると、最近、中国経済の先行きに不安がもたれるようになったのも、そのような経営哲学が無いからだと思われる。日本には、論語とそろばんといった伝統がある。その下で、何百年も続く企業が数多く生まれてきた。日本企業のこれからのグローバル展開の鍵ではなからうか。